男女共同参画に触れる図書リスト（令和７年５月現在）

7．からだ（リプロダクティブ・ヘルス／ライツ）・多様な性

テーマ別にタイトルの五十音順で表記

	タイトル	著者名	出版社	出版年	ジャンル	コメント
1	兄の名は、ジェシカ	ジョン・ボイン／著	あすなろ書房	2020	児童	自慢の兄の最近の様子が少し変になって。
2	今とこれからがわかるはじめてのLGBT入門	清水　展人／著	主婦の友社	2022	一般	元女性で2児のパパになった著者が、LGBTに関する「知っておくべきこと」をまとめる。
3	LGBTQの働き方をケアする本	宮川　直己／著	自由国民社	2022	一般	これからのダイバーシティ経営と向き合うためのコツを、わかりやすく紹介する。
4	LGBTQ＋の権利	ルイーズ・スピルズベリー／文，トビー・ニューサム／絵，杉本　志帆／日本語版監修，ひらの　あさ／訳	文研出版	2023	児童	人が生まれながらにしてもつ権利について絵本形式で説明するシリーズ。
5	Q＆A　多様な性・トランスジェンダー・包括的性教育　バッシングに立ちむかう74問	浅井　春夫／編著，遠藤　まめた／編著，染矢　明日香／編著，田代　美江子／編著，松岡　宗嗣／編著，水野　哲夫／編著	大月書店	2023	一般	トランスジェンダーなど性的少数者に対する素朴な疑問・誤解から偏見・不安を煽るデマや陰謀論まで、事実と人権に基づきQ&A形式で答える。
6	子どもも大人もわかっておきたいいちばんやさしいLGBTQ	清水　展人／著	KADOKAWA	2023	一般	LGBTQについて、イラストを盛り込んでわかりやすく説明する。
7	差別は思いやりでは解決しない	神谷　悠一／著	集英社	2022	一般	なぜ差別は「思いやり」の問題に回収され、その先の議論に進めないのか。
8	3人で親になってみた　ママとパパ、ときどきゴンちゃん	杉野　文野／著	毎日新聞出版	2021	児童	子育てに奮闘するトランスパパが、新たなファミリーの在り方を探る。
9	自分のこころとうまく付き合う方法	アリス・ジェームズ／著，ルーイ・ストウェル／著，西川　知佐／訳	東京書籍	2020	一般	こころの健康を保つためにはどうすればいいかを、わかりやすく解説する。
10	ジャクソンひとり	安堂　ホセ／著	河出書房新社	2022	一般小説	動画が流出し、職場で疑義をかけられたジャクソン。仕方なく独自の調査を始めると、動画の男は自分だと主張する3人の男に出会い･･･。
11	女子サッカー選手です。そして、彼女がいます	下山田　志帆／著	偕成社	2022	児童	LGBTQ当事者の女子サッカー選手が伝える「自分を大切にするため」の話。
12	スペシャルQトなぼくら	如月　かずさ／著	講談社	2022	児童	女子のような風貌で歩く優等生・久瀬を目撃した時、ナオの心にある願いが生まれて･･･。
13	正義ってなんだろう　自分の頭を考える力をつける	齋藤　孝／著	リベラル社	2022	児童	学校の悩み、SNSのいじめ、犯罪、戦争などから、何が正義で何が悪かじっくり考えてみよう。
14	性の絵本　せいってなーんだ	たきれい／作，高橋　幸子／監修	KADOKAWA	2022	児童	子どもの心と体を守るために必要なことをわかりやすく伝える絵本。
15	性役割／性別表現	佐々木　掌子／監修	国土社	2023	児童	だれもが自分らしくいられるよう、性役割や性の多様性について、やさしく解説する。
16	トランスジェンダーQ&A　素朴な疑問が浮かんだら	高井　ゆと里／著，周司　あきら／著	青弓社	2024	一般	トランスジェンダーについての基礎的な情報、疑問など、21個の問いに語りかける文体でわかりやすく答える。

男女共同参画に触れる図書リスト（令和７年５月現在）

17	ビジネスパーソンが知っておきたいLGBTQ＋の基礎知識	伊藤　義博／著，木下　舞耶／著，清水　鈴／著，中川　紗佑里／著，吉本　妙子／著	秀和システム	2022	一般	ビジネスパーソンに向けたLGBTQ＋（セクシャル・マイノリティ）の入門書。
18	みんなえがおになれますように	うい／作，早川　世詩男／監修，松中　権／監修	学研プラスチッ	2022	児童	小学生の”うい”による、多様性、LGBTQ＋についての本。
19	みんなで知りたいLGBTQ＋　5	電通ダイバーシティ・ラボ／企画，ReBit／監修	文研出版	2022	児童	地域や学校、職場、家庭の多様性について解説する。
20	リプロダクティブ・ライツ	リプロダクティブ法と政策センター／編	明石書店	2001	一般	女性のリプロダクティブ・ライツ(健康で自由な性と生殖を営む権利)の状況を概観する。
21	わたしが子どもをもたない理由（わけ）	下重　暁子／著	かんき書房	2017	一般	子どもを作らない選択をした著者が「子どものいない生き方」について綴る。